

HIV検査、時間延長

70自治体、普及週間中

エイズウイルス(HIV)の感染拡大に歯止めをかけようと、厚生労働省は1日から7日までを「HIV検査普及週間」と定め、全国70自治体でHIV検査をする保健所の受付時間を延長するなど態勢を強化する。

エイズウイルス(HIV)の感染拡大に歯止めをかけようと、厚生労働省は1日から7日までを「HIV検査普及週間」と定め、全国70自治体でHIV検査をする保健所の受付時間を延長するなど態勢を強化する。

体の保健所や検査センター、平日の昼間を中心に、匿名、無料で受け付けている。普及週間中は、このうち70自治体で夜間や休日にも受け付けたり、検査当日に結果が分かる迅速検査を実施したりする。各地の検査日時などは、エイズ予防財団のエイズ予防情報ネット

(<http://api-net.jfab.or.jp>)で。同省によると、検査件数は92年の約13万5千件をピークに低迷し、05年は約10万件だった。エイズの対策進み具合検証 米国際学会 HIV感染者の減少局

面に15年までに入ること宣言した01年の国連エイズ特別総会後、各国の取り組みの進み具合を再確認する国際会合が31日、ニューヨークで始まった。流行の確認から25年、エイズは世界の15歳から59歳までの男女の最大の死亡原因になっている。国連合同エイズ計画によると世界の現在の感染者は4千万人。会合には120カ国以上の代表が参加する。(ニューヨーク)

朝日新聞

6/1